

外来リクヒモムシの拡散防止と分布情報収集のお願い

小笠原諸島の一部には外来リクヒモムシが侵入し、ワラジムシ類等土壌動物相に甚大な被害をもたらしている。現在、検出や駆除等防除技術が確立されていない状況であり、分布の把握と侵入の早期発見を図る必要がある。**まずは属島上陸者がリクヒモムシの特徴を把握し、日頃から未侵入域に持ち込まないように注意するとともに、発見した場合は直ちに関係者内で共有されるよう、必要な情報を以下に整理する。**

外来リクヒモムシの特徴

【基本情報】

- ・ **体長2mm～6cm程度**。陸生のヒモムシ類（紐型動物門）の1種。従来、オガサワラリクヒモムシ *Geonemertes pelaensis* と呼ばれていたが、生態的特徴からこれとは別種の可能性が高いとされる。
- ・ 80年代初めに父島、90年代半ばに母島に侵入。**父、母、兄島の広域と弟島北部**で確認されている。
- ・ ワラジムシ類のほか、ヨコエビ類、クモ類、昆虫類など**節足動物を広く捕食**し、土壌動物相に壊滅的被害をもたらす。
- ・ 水中や樹上でも確認されることはあるが、**湿った林床の倒木や石の下や裏**で発見される場合が多い。
- ・ 外来プラナリア類と同様、**お酢や消毒用アルコール等の噴霧や冷凍**により死亡する。そのため未侵入の属島への出発前だけでなく、**既侵入域から未確認域への移動前にも消毒**できるとよい。



【ヒモムシに似る土壌動物（例）】

※プラナリア類には非常に似る種もいるが、貝食性種も含まれる外来種のため要通報。



- (参考) モニタリング業務の例 | 環境省業務内で兄島で調査した際は、湿潤環境複数地点で「1 地点10 m×10 m範囲内を5分間目視探索(倒木や石の下を重点的に探索)」を基準とした。

(参考) モニタリング業務の例 | 環境省業務内で兄島で調査した際は、湿潤環境複数地点で「1 地点10 m×10 m範囲内を5分間目視探索(倒木や石の下を重点的に探索)」を基準とした。



- ・未確認域でヒモ

- ・未確認域でヒモムシらしきものを発見した場合は、**写真と発見地点情報を記録し、速やかに通報する。**

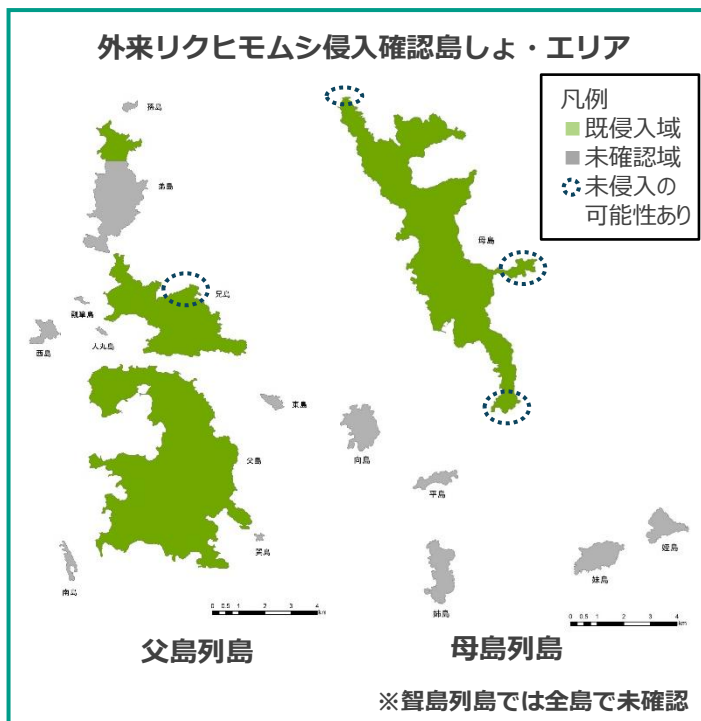
環境省

(小笠原世界遺産センター内)
TEL **04998-2-7174**
(休日・夜間 090-1500-0742)
✉ RO-OGASAWARA@env.go.jp

① 通報者の名前・所

- ② 発見日時
- ③ 場所（島名と地域名）
- ④ 写真、GPS情報等の有無
- ⑤ 発見状況（周囲の環境、個体数、
個体の大きさなど）

※業務請負者が発見した場合、環境省と共に
発注者（現地事務所）にも通報します。



Shinobe S, Uchida S, Mori H, Okochi I, & Chiba S (2017) Declining soil Crustacea in a World Heritage Site caused by land nemertean. *Scientific Reports* 7: 12400.

Yoshino H (2025) Current distribution and field observations of the invasive land nemertean, *Geonemertes* sp., and some isopods in the Bonin (Ogasawara) Islands. *Ogasawara Research* 51: 45-56.

Shinobe S, Uchida S, Mori H, Okochi I, & Chiba S (2017) Declining soil Crustacea in a World Heritage Site caused by land nemertean. *Scientific Reports* 7: 12400.

Yoshino H (2025) Current distribution and field observations of the invasive land nemertean, *Geonemertes* sp., and some isopods in the Bonin (Ogasawara) Islands. *Ogasawara Research* 51: 45-56.